



公裁録

坐席  
實地小作  
在方有編

禮

9

3冊  
3286  
3



門 3286  
卷 3

一 吟咏之節身分

- 一 高家並依經 每妻之節身分
- 二 依經依序
- 三 神子神女
- 四 神子神女
- 五 神子神女
- 六 吉田家元注
- 七 藤田家元注
- 八 神田家元注
- 九 大山家元注
- 十 山家元注
- 十一 山家元注
- 十二 山家元注
- 十三 山家元注
- 十四 山家元注



- 一 古橋寺の修繕事
- 二 安祥寺の修繕事
- 三 田村後直の修繕事
- 四 海老原の修繕事
- 五 大谷の修繕事
- 六 赤松の修繕事
- 七 平流の修繕事
- 八 八王子の修繕事
- 九 石居の修繕事
- 十 石居の修繕事
- 十一 石居の修繕事
- 十二 石居の修繕事
- 十三 石居の修繕事
- 十四 石居の修繕事
- 十五 石居の修繕事

- 一 先帝の修繕事
- 二 先帝の修繕事
- 三 先帝の修繕事
- 四 先帝の修繕事
- 五 先帝の修繕事
- 六 先帝の修繕事
- 七 先帝の修繕事
- 八 先帝の修繕事
- 九 先帝の修繕事
- 十 先帝の修繕事
- 十一 先帝の修繕事
- 十二 先帝の修繕事
- 十三 先帝の修繕事
- 十四 先帝の修繕事
- 十五 先帝の修繕事
- 十六 先帝の修繕事
- 十七 先帝の修繕事
- 十八 先帝の修繕事
- 十九 先帝の修繕事
- 二十 先帝の修繕事
- 二十一 先帝の修繕事
- 二十二 先帝の修繕事
- 二十三 先帝の修繕事
- 二十四 先帝の修繕事
- 二十五 先帝の修繕事
- 二十六 先帝の修繕事
- 二十七 先帝の修繕事
- 二十八 先帝の修繕事
- 二十九 先帝の修繕事
- 三十 先帝の修繕事
- 三十一 先帝の修繕事
- 三十二 先帝の修繕事
- 三十三 先帝の修繕事
- 三十四 先帝の修繕事
- 三十五 先帝の修繕事
- 三十六 先帝の修繕事
- 三十七 先帝の修繕事
- 三十八 先帝の修繕事
- 三十九 先帝の修繕事
- 四十 先帝の修繕事
- 四十一 先帝の修繕事
- 四十二 先帝の修繕事
- 四十三 先帝の修繕事
- 四十四 先帝の修繕事
- 四十五 先帝の修繕事
- 四十六 先帝の修繕事
- 四十七 先帝の修繕事
- 四十八 先帝の修繕事
- 四十九 先帝の修繕事
- 五十 先帝の修繕事



一 貨物工作之事

- 一 貨物出入の係り方之事
- 二 貨物作りの係り方之事
- 三 水作りの事
- 四 貨物と海關の係り方と國産品と
- 五 水作りの事
- 六 貨物と海關の係り方と海關の事
- 七 海關の係り方と海關の事
- 八 海關の係り方と海關の事
- 九 貨物と海關の係り方と海關の事
- 十 貨物と海關の係り方と海關の事
- 十一 貨物と海關の係り方と海關の事
- 十二 貨物と海關の係り方と海關の事
- 十三 貨物と海關の係り方と海關の事

十四 借地元金年々上り借地之事  
 十五 借地元金年々上り借地之事  
 十六 借地元金年々上り借地之事  
 十七 借地元金年々上り借地之事  
 十八 借地元金年々上り借地之事  
 十九 借地元金年々上り借地之事  
 二十 借地元金年々上り借地之事  
 廿一 借地元金年々上り借地之事  
 廿二 借地元金年々上り借地之事  
 廿三 借地元金年々上り借地之事  
 廿四 借地元金年々上り借地之事  
 廿五 借地元金年々上り借地之事  
 廿六 借地元金年々上り借地之事  
 廿七 借地元金年々上り借地之事  
 廿八 借地元金年々上り借地之事  
 廿九 借地元金年々上り借地之事  
 三十 借地元金年々上り借地之事

廿九 武指年々上り借地之事  
 三十 借地元金年々上り借地之事  
 三十一 借地元金年々上り借地之事  
 三十二 借地元金年々上り借地之事  
 三十三 借地元金年々上り借地之事  
 三十四 借地元金年々上り借地之事  
 三十五 借地元金年々上り借地之事  
 三十六 借地元金年々上り借地之事  
 三十七 借地元金年々上り借地之事  
 三十八 借地元金年々上り借地之事  
 三十九 借地元金年々上り借地之事  
 四十 借地元金年々上り借地之事  
 四十一 借地元金年々上り借地之事

一 在方在湯館之事

- 一 都の在方在湯館の事
- 二 角力在湯館の事
- 三 芝居の在湯館の事
- 四 長崎の在湯館の事
- 五 關東村の在湯館の事
- 六 虚伝の在湯館の事
- 七 猪的の在湯館の事
- 八 野火附の在湯館の事
- 九 浪士の在湯館の事
- 十 在湯館の在湯館の事
- 十一 在湯館の在湯館の事
- 十二 在湯館の在湯館の事
- 十三 小治政の在湯館の事

此は十七百集の事

五 不修法者之令(一) 身方之事  
 五 神聖者為用(一) 身方之事  
 六 神有佛子(一) 身方之事  
 七 神人極修(一) 身方之事  
 八 神人極修(一) 身方之事  
 九 神人極修(一) 身方之事  
 十 神人極修(一) 身方之事



吟味之身方(一) 身方之事

身方之事(一) 身方之事  
 身方之事(一) 身方之事  
 身方之事(一) 身方之事

一 向宗(一) 身方之事

一向宗(一) 身方之事

一向宗(一) 身方之事  
 一向宗(一) 身方之事  
 一向宗(一) 身方之事

一向宗(一) 身方之事

一向宗(一) 身方之事  
 一向宗(一) 身方之事  
 一向宗(一) 身方之事



配々社傳未寄社別函之帳

上極

許状諸帳之冊

上極

支辨之許状之帳之妻之帳

下極

但件之許状其由之許状不消也之許状清也之後家之帳

視取帳之帳之許状其由之許状不消也之許状清也

上極

配々社傳社傳未寄社別函之帳

許状諸帳之冊

上極

支辨之許状之帳之妻之帳

下極

但件之許状其由之許状不消也之許状清也之後家之帳

視取帳之帳之許状其由之許状不消也之許状清也

上極

配々社傳未寄社別函之帳

上極

許状諸帳之冊

支辨之許状之帳之妻之帳

下極

但件之許状其由之許状不消也之許状清也之後家之帳

視取帳之帳之許状其由之許状不消也之許状清也

上極

修後冷味之帳

三本之着分

上極

三本之着分

在天之着分

羽鳥修後

文化元年

尚山修後

尚山修後

神事

神事

但件之許状其由之許状不消也之許状清也之後家之帳

視取帳之帳之許状其由之許状不消也之許状清也

配々社傳未寄社別函之帳

許状諸帳之冊

支辨之許状之帳之妻之帳

弟藏之... 上梅

辰九月

松平周防中

都... 上梅

神子梅女之事

神子女の事

十梅

寛政十年... 神子梅女之事

梅女

十梅

田村八... 梅女

神子社人

吉田白川... 上梅

天保二年... 上梅

一社... 上梅

村人... 上梅

吉田家

社務... 祝師

麻島香

上梅

吉田社...



宗音願之事

天台

淨土

真言結

禪

此書の宗音願之事  
万石以上揚之  
宗音願之事

但和若志願之事

此和若志願之事

宗音願之事

宗音願之事

五山

濟家

黃石

曹洞

時宗

日蓮

一向

社人

修験

座頭席願之事

此和若志願之事

此和若志願之事

此和若志願之事

此和若志願之事

十二

大府白鳥 格也白鳥 小列白鳥 大列白鳥 拉拔女

寺院冷味席 上梅

寺持者五石化僧之類 上梅

但堂上方有石 寺持者之類 上梅

右覺政二年寺社其日 日没中合帳方之

寺方寺院堂寺方 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

寺院之類 上梅

右武由川越甚敷番寺 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

金地院家木村願之 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

增上寺代信後者後僧之事

代信 上梅

寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

十四

十五

安祥寺代信之事

又以此辰年九月四日 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

同寺代信門田信務僧上梅 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

十六

田村格生之事

又此十月末四月十日 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

右寺代信身之 寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

二月四日寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

淡島寺代信之事

寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

寺方成りて平古通板長列江之 張板寺

十七

神代官子代冷味席之事

上梅 下梅

神藏子代冷味席之事

諸君方力回公冷味席之事

上梅

右天保二卯正月廿我身居者後先子松浦忠重(中)言云之也  
情事二件以集之申少紙

八王寺千人同心之事

千人同心 上梅

是身方心集事梅且日方内治歴外方方散出下千の地方  
心集事方有姓並利はありと等申は梅は為り麻上下人  
日心集事方有姓並利はありと等申は梅は為り麻上下人  
方身方心集事梅且日方内治歴外方方散出下千の地方

千人同心神代小島大平呼あり同道人日思は流川村物中流平庵  
其後石川中水心集事梅且日方内治歴外方方散出下千の地方  
心得事(中)三麻上申有因は流川事

心集事梅且日方内治歴外方方散出下千の地方

是年又改五年六月四日有田村神代官子代冷味席之事

神代官子代冷味席之事

久政五年六月四日有田村神代官子代冷味席之事

心集事梅且日方内治歴外方方散出下千の地方

神代官子代冷味席之事  
神代官子代冷味席之事

甲賀士之事



吳郡海國書之書

吳郡海國書之書

浪人之書

右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就  
右軍將軍書長言代何東去就

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事

守隨書告州之事

守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事  
守隨書告州之事





文化八年正月、目安裁判法可申、  
冷味、御用目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、

野廻り

野廻り

小橋

戸田五曲

戸田五曲

野廻り、御用目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、  
野廻り、御用目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、

中  
二月

武由海部藤清源新田  
海田清吉

戸田五曲  
折平止

小橋、御用目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、

戸田五曲

御林守

文化八年正月、目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、

浦役人

文化十年正月、目安裁判法可申、  
可有尤冷味、御用目安裁判法可申、  
任渡り、御用目安裁判法可申、

史之身分其身二代限自出利也

小揚

久文九成乃月... 小揚... 史之身分其身二代限自出利也

史之身分其身二代限自出利也... 久文九成乃月...

松平

史之身分其身二代限自出利也... 久文九成乃月...

御前

史之身分其身二代限自出利也... 久文九成乃月...

和

史之身分其身二代限自出利也... 久文九成乃月...

吟味守事其限中少改少押あり一才相考未及可力在也此結成之元  
又事の事  
文正貞十七日松坂中務少輔成信の御書あり

老女  
三浦右仕

此の例に依りては方石の事又松の松の事也此の事也此の事也此の事也

此の事也此の事也此の事也此の事也

弟桑松平七郎の家系松尾江也此の事也此の事也

武蔵の事也此の事也此の事也

其の格也其の格也其の格也其の格也其の格也其の格也其の格也

後主格の事也此の事也此の事也

三浦右仕格

寛政十三年三月の勅揚屋等の家系是種少格格付人未定此の事也  
同日二月十日松平方也此の事也此の事也此の事也此の事也

初利。其の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也  
此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也

此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也  
此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也

中入利の事也此の事也

満持家の事也此の事也

久政の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也  
此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也此の事也

和願の事也此の事也此の事也此の事也

新羅王先苗宮名孫常力... 德川王德壽... 上稿

同寺役人... 上稿

久改二卯年... 相別... 上稿

同寺役人... 上稿

文德十一年... 相別... 上稿

虛注傳... 上稿

並化家... 文德十一年... 上稿

中別... 文德十一年... 上稿

一曰... 文德十一年... 上稿

事之為甚也陽布條者

子二月

水野如所書

昔年冷味之味... 二月十日冷味... 上梅... 坊之... 一月十日冷味...

方寬政... 坊之... 坊之... 坊之... 坊之...

三十三

陰陽師... 坊之...

陰陽師... 坊之... 上梅

辛四

影之...

船渡代改大日向...

日向...

平...

是年...

和文...

和文...

辛五

金...

時...

山...

福...

是...

火...

是...

西...

辛七

辛六

武家地由又長屋借清浪人武家醫師也

前々武家地由長屋借清浪人武家醫師也長屋借清浪人武家醫師也長屋借清浪人武家醫師也

元武家方由物と後浪人武家地由長屋借清浪人武家醫師也

武家方由物と後浪人武家地由長屋借清浪人武家醫師也

小田切土佐也

武家地由又長屋借清浪人武家醫師也

武家地由又長屋借清浪人武家醫師也長屋借清浪人武家醫師也

西本願寺家身也

長格大由格後由西本願寺家身也長格大由格後由西本願寺家身也

大神樂藏也

熱田大國神樂年中由西本願寺家身也大神樂藏也

神樂年中由西本願寺家身也大神樂藏也

神樂年中由西本願寺家身也大神樂藏也

不能後者之事

觀其文今春冬文士為人所為上梅在後下梅

伊勢山田明年為之事  
師殿之托也梅梅所談言字如前白別

長崎地方散傳之事  
白方在屋屋濱村後而長崎寺乃有字不明或稱是國之事

時宗沙河延之事  
寬政十年年服板中勢大陣也乃方西利為武別並有村  
一件也

依違之事  
高師山雪方願法大德院也乃元化二年九月石川古也物陰寺  
寺社等以前同合所交傳告汝以不事乃其子自其家及乃  
名目止言白占石月取白乃乃道白乃乃再探其件矣乃由  
探探乃乃

尾張殿家來入身之事  
竹垣江島遠海家中家傳中云是謝一件冷味仁信尾張殿  
家來入身之事乃乃乃乃

書如武年同乃乃尾張殿家來入身之事乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

又改十夫百四

石川乃乃乃



算地小作

算地文海は冷味ううはるり来利と云ふも是れ年貢法後河方か湖也なり  
木等可算云々大木也の中なりと算地は元々其法固き区なりと算地云々不  
年貢法後河方か湖也なりと算地は元々其法固き区なりと算地云々不  
算地は元々其法固き区なりと算地云々不  
算地は元々其法固き区なりと算地云々不

算地作徳方入

算地作徳方入河内也其の上算地は元々其法固き区なりと算地云々不  
此文字句海由作云と云ふは元々其法固き区なりと算地云々不  
此文字句海由作云と云ふは元々其法固き区なりと算地云々不  
此文字句海由作云と云ふは元々其法固き区なりと算地云々不



連海に下る港に道程有るは地を是等外に借入し下りて  
 度有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 村に下りて借入し下りて度有るは市中より  
 借入し下りて度有るは市中より  
 所安に下りて度有るは市中より

**貸地之儀** 関前伊豆國村山科市下小瀬之村

- 一 市下小瀬之村に借入し下りて度有るは市中より
- 一 市中より借入し下りて度有るは市中より
- 一 借入し下りて度有るは市中より
- 一 市中より借入し下りて度有るは市中より
- 一 借入し下りて度有るは市中より
- 一 市中より借入し下りて度有るは市中より
- 一 借入し下りて度有るは市中より
- 一 市中より借入し下りて度有るは市中より
- 一 借入し下りて度有るは市中より
- 一 市中より借入し下りて度有るは市中より

一名縣有在津工法道居津波有るは地を是等外に借入し下りて  
 度有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 村に下りて借入し下りて度有るは市中より  
 借入し下りて度有るは市中より

**二月**

有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 村に下りて借入し下りて度有るは市中より  
 借入し下りて度有るは市中より  
 有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 村に下りて借入し下りて度有るは市中より  
 借入し下りて度有るは市中より

**小作**  
 是年田畑何れも外に是年限於小作年有るは市中より  
 小作年有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 有るは市中より借入し下りて度有るは市中より  
 村に下りて借入し下りて度有るは市中より  
 借入し下りて度有るは市中より





其後更不務之... 日部守吉村

日部守吉村

上野村

根

依之

其後更不務之... 依之

小谷附

其後更不務之... 依之

上野村

根

其後更不務之... 依之



書物之印一切賜與之使入上如平一節一不亦一有之切實也  
切賜與之使入上如平一節一不亦一有之切實也  
切賜與之使入上如平一節一不亦一有之切實也  
切賜與之使入上如平一節一不亦一有之切實也  
切賜與之使入上如平一節一不亦一有之切實也

日附  
留山西

有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否

有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否  
有之海村内平力使先代不務一之因之有之海村下内或否否

貨地證文通法之事

是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事

貨地證文通法之事

是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事

貨地證文通法之事

是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事  
是之證文通法之事



查得海方中付筒地地方方在底以指年正西の公文通

但後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

年正月之筒地

為書之通例之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

年正月之筒地

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

指年正西海方中付筒地

正西上

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

指年正西海方中付筒地

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

是年正月之筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
後地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地  
正西海方中付筒地之公文之件交三年正月指年正西海方中付筒地

中流の概略の事は名を記し置かれし事なり是れ也

是又甲乙の通を掲げたる事也

年重なり河川は流れては流るるなり

是は河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川の流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川の流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川の流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

河川は流れては流るるなり

従又債主の申請を借法第百三十一條又債主の申請を以て借主が申す事  
 是等如左ノ又債主各等並に借主各等が借法第百三十一條第ニ項ノ旨ニ  
 又債主各等ノ一初ノ旨に照して申す事  
 所定市地持主社酒造株式會社債權者持主社 〇〇〇〇株式會社  
 是等市地持主社社員月日相宜と爲す事一債主各等申す社外  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社

市地持主社 〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事

債權者各等申す事  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事

債權者各等申す事  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事

債權者各等申す事  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事  
 是等市地持主社酒造株式會社債權者持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 主の旨に照して又債主各等が持主社申す事一〇〇〇〇株式會社  
 但し債權者各等ノ地物各等申す事

但書中作之經文不詳... 裁作不詳也

是年... 裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

廿五

廿六

廿七

但書... 裁作不詳也

裁作不詳也

皇朝... 裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

裁作不詳也

廿八

廿九

裁作不詳也

裁作不詳也



通商不設之者... 通商不設之者... 通商不設之者...

但亦有... 但亦有... 但亦有...

貨物地理之考

是于貨物地理... 是于貨物地理... 是于貨物地理...

但亦有... 但亦有... 但亦有...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

貨物地理... 貨物地理... 貨物地理...

天朝... 天朝... 天朝...

禮文... 禮文... 禮文...

貨物地理... 貨物地理... 貨物地理...

禮文... 禮文... 禮文...

附

年... 年... 年...

禮文... 禮文... 禮文...

但亦有... 但亦有... 但亦有...

一... 一... 一...

禮文... 禮文... 禮文...

但亦有... 但亦有... 但亦有...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

禮文... 禮文... 禮文...

一 留地年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去

留地西入用村方之

一 石地留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去

一 留地年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去

一 留地年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去  
 本通留地法又示以不地法人之之能合年有拾年者法成海洲如多形亦上市中彼与甘存其去









西面以是為所... 文政十三年... 文政十三年...

文政十三年七月... 文政十三年... 文政十三年...

文政十三年八月... 文政十三年... 文政十三年...

別紙... 文政十三年... 文政十三年...

三

其席... 文政十三年... 文政十三年...

其席... 文政十三年... 文政十三年... 文政十三年...













中条とて給礼原村も有る利平と云ふは是れ是れ作村也  
向後古給礼原村作 幸高と申す是れ是れ作村也  
不承作と云ふは利平と申すは利平作村也  
一高利平の利平と申すは利平作村也  
作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也

申二月

左津原村の物産と云ふは利平と云ふは是れ是れ作村也  
利平作村と云ふは利平作村也

其方より利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也

天保三年四月廿一日

利平作村と云ふは利平作村也

其方より利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也

未十一月

利平作村と云ふは利平作村也

利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也

利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也  
利平作村と云ふは利平作村也





關東共の馬師が没捕物寄の存意は三事

山城守御帳

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

左方山江馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事  
 一 寄書等為馬師共の没捕物寄の存意は三事

江以南之越方亦物產之小予燕然山後亦為要路  
男而為海陸之陸事種一十事之役今其能水出於下海而山而為元元之  
男非福也物可渡物之修一山事計余之此文之至年之修物以十方之及  
改之 江以南之越方亦物產之小予燕然山後亦為要路  
和之文以之在年之元元之川有之口不川之修一十事之役今其能水出於下海而山而為元元之  
多合有之山是也元元之川有之口不川之修一十事之役今其能水出於下海而山而為元元之  
其以之山是也元元之川有之口不川之修一十事之役今其能水出於下海而山而為元元之  
不容易物產之小予燕然山後亦為要路  
山事計余之此文之至年之修物以十方之及  
以此文之山是也元元之川有之口不川之修一十事之役今其能水出於下海而山而為元元之

